

令和元年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 東京都立三田高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 主任教諭(庶務主任兼務)＝事務局長、副校長 計2名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭4名（教務担当、生活指導担当、進路指導担当、1学年担当）、
主任教諭2名（国際教育部主任、庶務部主任） 計9名
 - ・評価委員の構成
副校長、主幹教諭（生活指導担当）、庶務部主任 計3名
- (4) 協議委員の構成
有識者3名（大学名誉教授、大学客員教授、進路指導研究会）、PTA会長、同窓会会長、同窓会役員、地域住民代表、近隣中学校長、近隣小学校長、消防署出張所長、区防災担当者、スクールサポーター 計11名
 - ・評価委員の構成
有識者2名（大学名誉教授、大学客員教授）、PTA会長、同窓会会長 計4名

2 令和元年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他

第1回 令和元年6月11日（火）15時30分～17時 内部委員9名、協議委員8名
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出、学校経営計画・現状と課題・各分掌等の取組計画説明、次期学習指導要領への対応、主体的な学び、知的探究イノベーター推進事業、働き方改革、意見交換

第2回 令和元年11月8日（金）15時30分～17時 内部委員10名、協議委員8名
次期学習指導要領への対応、知的探究イノベーター推進事業、思考スキルの獲得、ルーブリック評

価、

各分掌等の取組状況、大学入試改革への対応・英語4技能習得対策、授業の感想、意見交換、

第3回 新型コロナウイルス感染症対策のため中止（資料に基づいてメール等で意見を集約）
学校経営計画取組の報告、分掌等業務取組の報告

- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他

第1回 令和元年6月11日（火） 内部委員3名、協議委員4名
平成30年度学校評価結果を踏まえた課題の確認、令和元年度学校評価の基本方針の確認、生徒・保護者への質問形式の検討、ライフ・ワーク・バランス推進に関する評価項目設定について

第2回 令和元年11月8日（金） 内部委員3名、協議委員3名

学校評価アンケート項目・質問形式の検討、

第3回 新型コロナウイルス感染症対策のため中止（資料に基づいてメール等で意見を集約）

令和元年度学校評価実施状況・回収状況・集計結果報告、アンケート結果の分析
主体的な学びの意識と実践、生徒の自宅学習の取組の改善、「積極的肯定回答」への着目、自由意見への着目と改善、教員の指導・対応（生徒との距離感）、地域との連携

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価アンケート報告）

- (1) 学校評価の観点

「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。

- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

- ・12月 全校生徒 対象：860人 回収：840人 回収率：97.7%
- ・12～1月 保護者全員 対象：860人 回収：593人 回収率：69.0%

・12～1月 教職員 対象： 49人 回収： 46人 回収率： 93.9%

(3) 主な評価項目

・学校満足度、教育方針の理解、学習指導、施設・設備、進路指導、国際理解教育、生活指導、特別活動・部活動、安心安全な学校生活、防災教育、相談体制、地域連携、東京都教育委員会指定事業、

ライフ・ワーク・バランスの推進（働き方改革）

(4) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）

- ・肯定的回答は、生徒の平均が2年連続で少しずつ増加し、保護者の平均がわずかではあるが2年連続で減少した結果、今年度は生徒の平均が保護者の平均を上回った。
- ・教員の肯定的回答の割合は上位から26項目と下位3項目に二極化していて、29項目中10項目で100%、24項目で90%を超えている。
- ・学校への満足度は生徒92%、保護者96%とともに高い割合である。
- ・本校のスローガンの認知度は、生徒44%、保護者53%とともに低い。
- ・授業への取組については、肯定的回答が生徒では増加し、保護者では昨年度と同程度であった。教員では肯定的回答が昨年度減少したが、今年度は増加し100%となった。
- ・自宅学習への取組については、教員では肯定的回答が昨年度は20%減少したが、今年度は一昨年度と同程度に回復したのに対して、生徒・保護者では今年度、肯定的回答が大幅に減少した。これは質問を自分や自分の子どもについて尋ねる形式に変更したことが大きく影響していると考えられる。
- ・学習指導については、肯定的回答が生徒で、教材・指導の工夫79%、質問への対応94%、教員ではいずれも100%で生徒・教員ともに前年度より増加した。一方、保護者の回答では「わからない」という回答が多く、肯定的回答は順に54%、62%で、生徒の回答より25～30%少ない。
- ・適切な進路指導については、肯定的回答が生徒87%、保護者76%、教員96%で三者ともに昨年度と同程度である。
- ・将来を考える機会の提供については、肯定的回答が生徒では2年連続して4%ずつ増加し81%となり、保護者では3年間76%で変化はなく、教員では97%→85%→98%と推移し、一昨年度と同程度に回復した。
- ・施設・設備については、生徒39%、保護者29%。教員11%で三者ともに肯定的回答が極めて少ない。校内美化については、肯定的回答が生徒では36%で全設問中最も少なく、教員では33%で2番目に少なく、保護者では54%で29項目中6番目に少ない。
- ・基本的な生活習慣については、肯定的回答が生徒73%、保護者81%とともに昨年度と同程度であるが、教員では89%→83%→91%と推移し、一昨年度と同程度に回復した。
- ・規範意識については、肯定的回答が生徒86%、保護者91%とともに増加した。
- ・品位については、肯定的回答が生徒85%、保護者87%、教員96%で三者とも増加した。
- ・学校行事の取組については、肯定的回答が生徒・保護者ともに88%で29項目中5番目に多く、教員では100%となっている。
- ・部活動の取組については、肯定的回答が生徒84%、保護者86%、教員91%で。三者ともに昨年度より少し減少した。生徒では5%減少したが、学年別に見ると1年7%減、3年9%減である。アンケートを12月に実施したため、3年生での減少は質問を自分について尋ねる形式に変更したことが影響していると考えられる。
- ・体罰・いじめがなく安心な学校生活については、肯定的回答が生徒・保護者ともにどの学年でも90%以上で、生徒では29項目中で最も多く、保護者では2番目に多く、教員では100%と三者ともに評価が高い。
- ・防災教育については、三者ともに肯定的回答が昨年度より増加したが、全項目平均を下回った。教員では連続して増加して89%になったが、生徒74%、保護者72%で教員と比較して低い評価である。
- ・相談・連絡への対応については、肯定的回答が生徒91%、教員100%と高い評価であるが、保護者では「わからない」という回答が23%あり、肯定的回答は68%にとどまった。
- ・地域との関係については、肯定的回答が教員では90%台で推移しているが、生徒・保護者ともに全設

間平均を下回り、教員の評価と差が大きい。生徒では2年前と比較すると、肯定的回答が11%増加している。保護者では「わからない」という回答が41%と29項目中で最も多い。近隣の病院と連携した活動、合同防災訓練、近隣小学校児童への長期休業日の学習支援等、地域と連携している様々な活動を推進するとともに、学年通信やホームページ等で情報発信することが重要である。

- ・東京都教育委員会指定事業の認知度は、海外学校間交流推進校を除き、生徒・保護者ともに80～90%あり、知的探究イノベーター推進校の認知度は生徒・保護者ともに80%であるが、他の3つの事業では保護者の方が生徒より認知度が高い。各事業の成果については、保護者では「わからない」が多く、肯定的回答の比率は生徒より低い。事業の成果については、保護者には評価が難しいと思われる。
- ・進学指導推進校の成果については、肯定的回答が生徒では少しずつ増加し75%に達し、教員では7%増加し98%となったのに対し、保護者では1年と3年ともに14%減少し、全体で9%減少し、68%となった。保護者は認知度が92%と高い分、進学指導に対する期待も大きいと考えられる。
- ・知的探究イノベーター推進校については、30年度入学生から1・2年次で2年間かけて指導を行っている。成果については、肯定的回答が教員では91%（昨年度83%）と高いが、生徒では1年73%（昨年度69%）、2年64%である。この2年間では1年生の約70%が成果を感じていると判断できるが、現2年生では1年次と比べて肯定的回答が減少した。
- ・英語教育推進校の成果については、肯定的回答が教員95%、生徒74%で、昨年度より4%以上増加したが、保護者では6%減少し66%となった。
- ・働き方改革に対する認知度は、生徒では14%増加し67%、保護者では昨年度で70%をこえていたこともあり、3%の増加にとどまり75%となった。教員の働き方改革の取組に対する肯定的回答は29項目の中で3番目に少ないが、昨年度より8%上昇し91%となった。

(5) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）

- ・生徒の自宅学習への取組については、質問形式の変更が影響していることも考えられるが、生徒・保護者では肯定的回答が大幅に減少した。特に、1年生では90%から45%に半減しており、基本的な生活習慣についても2・3年生では肯定的回答が増加したのに対し1年生では81%から72%に減少した。「サクセスプラン」（家庭学習計画表作成）と「サクセスシート」（家庭学習記録用紙）による指導や「進路・家庭学習調査」による実態把握等、組織的な家庭学習指導を継続し、学習習慣の定着を図る必要がある。同時に、授業において生徒の主体的な学びを中心とした学習活動、教育活動を実践し、生徒が教員へ依存しがちな体質を変え、主体的な学びへと繋げることが重要である。
- ・保護者の回答では、地域との関係、東京都教育委員会指定事業の成果、学習指導や教員の指導・対応等に関する項目で、「わからない」という回答が多く、肯定的回答が少ない。生徒・保護者への配布文書、保護者会、ホームページ等で保護者への情報発信を工夫するとともに、保護者との面談を設定する等、保護者とのより緊密な連携を図ることが重要である。
- ・知的探究イノベーター推進校の成果については、課題研究の精度を高めるため論文の提出時期を12月に変更した結果、2学期に取り組むことが集中したことが2年生で肯定的回答が増加しなかった大きな要因と考えられる。1年次3学期から2年次1学期までの取組を充実させ、2年次2学期に負担が集中しないよう指導計画を改善することが重要である。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・協議委員に、生徒の主体的な学びを中心とした学習活動、教育活動への意識と実践、教員の指導や対応、生徒の学習・生活に対する姿勢等について評価していただくとともに、課題や具体策についても的確な助言をいただくことができた。また、高校入試・大学入試等の動向、次期学習指導要領への対応、防災、防犯、小中学校の状況等、協議委員それぞれの役職等に応じて様々な情報提供をいただくことができた。

- ・学校評価や協議委員からいただく意見や助言、情報を通して、教職員が重点的に取り組むべき課題や取組の方向性について認識を深めることができた。
- ・協議委員に本校の教育活動を理解していただくことにより、本校の教育活動への協力や本校生徒の活動の機会をいただく等、連携を深めることができた。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・「自律・自学・チーム三田で高い志の進路実現」というスローガンについて生徒・保護者に周知されていない。協議委員からは、スローガンが伝わっていないのは本校の取組があまりに多すぎるからという助言をいただいた。本校の重点的な取組を整理し、生徒や保護者等に向けて戦略的な情報発信を展開することが重要である。
- ・施設・設備については、生徒・保護者の自由意見でも校舎改築や改善を求める記述が特に多い。全面改修を目指し動いていたが、改築・大規模改修は期待できないことから、こまめに部分的な改修を行うような申請を行い、安全に配慮して工事を実施し、少しずつ改善に努める。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価アンケートを活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

(1) 学校運営

- ・国や都の教育改革・教育施策の動向を直視し、教務部・進路指導部・教科主任会が連携し、新学習指導要領及びグランドデザインに基づいた教育課程を編成する。
- ・戦略的な情報発信を展開し、本校の教育に理解と共感を抱く保護者・生徒の拡大を図り、「高い志の進路指導と国際理解教育」の具現化に対する意欲がある生徒の獲得を目指す。

(2) 学習指導

- ・「高い志の進路指導と国際理解教育」を実践し、グローバル人材を育成する。
- ・「主体的・対話的で深い学び」の授業の実施を推進し、基礎基本の学力伸長と基礎体力の向上を図る。授業では与え過ぎず、ルーブリックを活用し、思考スキルの獲得を推進させる。
- ・「知的探究イノベーター推進事業」の下、全教科で「新しい価値」を創造する探究学習に取り組む。

(3) 生活指導・進路指導

- ・品位ある生活態度とルール・マナー遵守の態度を基本とした自律性の育成を図る。
- ・自学自習習慣の確立を図り、目的意識を持って主体的に学ぶ態度を育成する。
- ・生徒会・HR活動・学校行事・部活動等の組織運営について、生徒の委員会が中心となって、生徒主体に運営する支援体制を整備し、望ましい人間関係の育成、協調・協働の精神や連携意識の涵養を図る。

(4) 健康・安全

- ・生徒が充実した学校生活を送れるように、安全に配慮して、施設・設備の改善を図る。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 11人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
6	3			1	1	1

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 0回 企画調整会議 0回